

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果 [本巢市]



## 1 調査について

- 調査実施日 令和7年4月14日（月）～17日（木）
- 調査対象 小学校・義務教育学校6年生、中学校3年生・義務教育学校9年生
- 調査事項 (1) 教科に関する調査 小学校：国語、算数、理科 / 中学校：国語、数学、理科  
(2) 質問紙調査（学習や生活等に関して）
- 調査目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から
- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 本巢市全体の結果

### (1) 教科に関する調査

小学校	○よくできていた点	△課題点
国語	・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
算数	・簡単な二次元の表から、条件にあった項目を選ぶこと。	・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。
理科	・実験の結果を基に、結論を導いた理由を表現すること。	・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現すること。

中学校	○よくできていた点	△課題点
国語	・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること。	・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。
数学	・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。	・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。
理科	・探究から生じた新たな疑問や、身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること。	・電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想すること。

### (2) 質問紙調査（よさと課題）

#### ①よさや高まりが見られたこと

- ・中学校では、数学の「好き」「分かる」、国語の「分かる」と回答する生徒が多い傾向にある。
- ・幸福感に関する項目は、小学校・中学校ともに高い数値を示している。
- ・ICT機器を身近な学習ツールとして、文章の作成、情報の収集、整理に活用する等、情報リテラシーの向上に関する肯定的な回答が増加傾向にある。

#### ②課題として改善を図ること

- ・小学校では、国語や算数が、社会にでた時に役に立つと考えている児童の割合が低い傾向にある。
- ・小学校、中学校共に、読書が「好き」と回答する児童の割合が低い傾向にある。
- ・小学校、中学校共に、国語を「好き」と回答する児童生徒の割合が低いことから、国語の本質的な「おもしろさ・楽しさ」を実感できる授業改善を図ること。

### (3) 今後の重点

- ◎児童生徒が主体となり、学ぶ楽しさ（教科の本質的な学び）を実感することができる授業づくりの推進
- ◎「子どもが主語の授業」の推進【教師は子どもの学びのパートナー】
  - ・児童生徒の自己選択・自己決定を尊重し、自分の言葉で語り、学びを深める対話のある授業づくり
  - ・児童生徒がタブレットを効果的に活用し、個別最適な学びを具現する授業づくり
- ◎本巢市こどもの権利条例『自分の学校は自分でつくる～「自分」を認めてもらえる権利～』の気風に満ちた学びと生活づくり